

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】平成22年9月30日(2010.9.30)

【公開番号】特開2009-247030(P2009-247030A)  
【公開日】平成21年10月22日(2009.10.22)  
【年通号数】公開・登録公報2009-042  
【出願番号】特願2009-177574(P2009-177574)  
【国際特許分類】

H 0 4 L 29/06 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 13/00 3 0 5 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月18日(2010.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】エンハンストアップリンクを多重化するための方法

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、一般に、無線通信システムに関する。より詳細には、本発明は、エンハンストアップリンクを多重化するための方法に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の専用チャネル媒体アクセス制御(MAC-d)フローを、1つのエンハンストアップリンク媒体アクセス制御(MAC-e)プロトコルデータユニット(PDU)に多重化するための、無線送受信ユニット(WTRU: Wireless Transmit/Receive Unit)内で実施される方法であって、

少なくとも1つの論理チャネルを介して、送信データを受信するステップと、

前記送信データを、少なくとも1つのMAC-dフローに多重化するステップと、

MAC-dフローの許容組合せ(allowed combination)のセットの中から、MAC-dフローの1つの組合せを選択するステップと、

該選択したMAC-dフローの許容組合せにしたがって、前記MAC-dフローを1つのMAC-e PDUに多重化するステップと、

物理層処理のために、前記MAC-e PDUを、エンハンストアップリンクトランスポートチャネル(EUTrCH: Enhanced Uplink Transport Channel)を介して、物理層に転送するステップと

を備えることを特徴とする方法。

**【請求項 2】**

前記 M A C - d フローの許容組合せのセットは、標準規格によって定められることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 3】**

各前記 M A C - d フローの許容組合せは、サービス品質 ( Q o S : Quality of Service ) 要件に関連付けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 4】**

送信時間間隔 ( T T I : Transmit Time Interval ) 当たりの、1 つの M A C - e P D U に多重化できる所定の M A C - d フローからの P D U の数が設定されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 5】**

前記 T T I 当たりの前記 P D U の数は、保証ビットレートに対応することを特徴とする請求項 4 に記載の方法。